

◆中学校租税教室（七城中学校）

令和6年11月15日（金）に初となる中学校の租税教室を菊池市七城中学校にて開催しました。七城中学校は令和6年度の租税教育強化指定校として取り組みを強化されており、当会の申し出によって実現しました。

事前に先生方、税務署と調整を行い、菊池法人会青年部会が実施したい90分の授業の中にグループワークを取り入れ、生徒が自分たちで考え、答えを出すことで租税教室を実施しました。決して、答え合わせではなく、正解が無いことを前提として、納税から税の使い道までを考えて頂きました。

納税では、累進課税を学ぶべく徴収の考え方（貧富の格差是正）から、昨今頻発する自然災害が起こったと仮定して、税によりくらしを守る体験です。

七城中学校2年生の生徒38名はとても前向きで休憩時間を惜しむ程熱心に議論していました。最後は、全グループより発表して頂き、様々な考え方を聞かせて頂きました。七城中学校生徒の皆さんの素晴らしさに感激しつつ、ご協力下さいました今村校長先生や西田先生に心より感謝致します。ありがとうございました。



冒頭の自己紹介（青年部会員8名） 説明する中島委員長  グループで議論している様子



【租税教室スライド（抜粋）】

2.租税教室の流れ

- ①税に関する基本知識（インプット）
- ②グループワーク（ディスカッション）
- ③発表（指名グループ、質疑応答）
- ④おさらい（学びと今の仕組み）

導入

①税に関する基本知識

Q:国民が納めている税金の合計額は何円位かわかりますか？

A:「約112兆円」

この税金は、日本国民に限らず、日本に訪れる外国人を含めて税制の決りに沿って収められます。

税制とは、限りなく公平であることを前提に、貧富の格差が拡大しないよう軽減税率等も決められています。

基礎知識

①税に関する基本知識

Q:納められた税金は以下のとおり使われています。

A: 社会保障費
A: 国債費
A: 地方交付税交付金等
A: 防衛関係費
A: 公共事業費

基礎知識

②グループワーク

・所得税を納め、納められた税金で公共事業により私たちのくらしを守る、これを疑似体験します。

・先ずは、条件を出しますので、その条件を満たした答えと答えに至った考え方を発表して頂きます。それぞれがA～Gとなって納税し、どのような公共工事を実施するかを決めて下さい。皆さんグループ毎に考えて下さい。

テーマ出題

②グループワーク

＜所得税の徴収（歳入）＞

徴収する税額は年収から生活するために最低限の必要経費を控えた額の範囲内として下さい。

区分	年収/年	最低限の必要経費	所得額/年 課税額	主な用途
A	150,000	1,800,000	780,000	
B	250,000	3,000,000	970,000	
C	400,000	4,800,000	1,140,000	
D	600,000	7,200,000	1,680,000	
E	800,000	9,600,000	2,220,000	
F	1,000,000	12,000,000	3,040,000	
G	3,000,000	42,000,000	6,000,000	

回答用紙

②グループワーク

＜公共工事の実施（歳出）＞

歳出3（歳出）
3か所の公共工事は、公共工事①学校の校舎が被害に遭って修繕しなければなりません。公共工事②学校の隣にある給食センターが洪水で修繕工事が必要となっています。公共工事③学校に行く通学路の橋が老朽により倒れてしまい新たな橋を修繕しなければなりません。

①学校（校舎） ②給食センター ③橋（通学路）

テーマⅡ